

## 成長分野を見定め、 大阪を「知的でオモロイ産業都市」に!

この10年で大阪経済の活力はますます失われ、本社機能も東京に移ってしまっています。減り続けてきた大阪市の人口は、都心のみ回帰現象で少し回復しつつありますが、喜んではいられません。職場がなくなってしまうと、人は住まなくなってしまうからです。アジアからの追い上げをしのぎ、空洞化を食い止めるには、高付加価値産業で先頭を切るしかありません。例えば自動車産業で考えると、今後、電気自動車(EV)が、急速にガソリン自動車(GV)に取って代わることが予想されます。EVはGVに比べ部品点数が3分の1に減るため、GVの3倍の部品点数を持つ航空機部品市場を狙う可能性もあるでしょうが、

EVの新しいビジネスを狙う可能性も大事です。とくにポイントになるのは「電池+デザイン+制御系(自動運転)」です。電池は、長い充電時間を考えると、電気代の安い夜に自宅で充電するか、電池のカセット化が求められます。形状については、レイアウトフリーになるため、デザインが重要となり、近場の外出用にモビルスーツのような車ができる可能性もあります。今後、高付加価値産業を育てていくには、理工系の人だけでなく、マーケットを分析する経済系、付加価値を高めるデザイン系の人材がそこに加わって総合的に考えていくことが重要です。大阪に「知的でオモロイ産業」を育てていきましょう!



### 大阪市立大学大学院 創造都市研究科 都市政策専攻

教授 小長谷 一之氏

<http://www.gscoc.osaka-cu.ac.jp/>

TEL 06-6605-3507

PROFILE▶京大大学院理学部卒、東京大学大学院理学系研究科修了、大阪市立大学経済研究所助教授などを経て現職。都市経済政策の有識者として知られる。